

## 「初心」

みなさんは運転する時に、いつも「初心」を忘れずに運転していますか？

運転免許取りたての頃は事故、違反をしない運転や交通弱者をいたわり、思いやりのある運転をしようとしていたかと思います。しかし、運転経験を積んで路上走行に慣れてくると、応用が利くようになり、その応用がいつの間にか自己流になり、初心者の頃に持っていた安全運転に対する気持ちが薄れてしまっている…そうなってはいませんか？

私も正直なところ、常に「初心」を忘れずに運転している自信はありません。運転中にヒヤリとした経験をして、自分の運転を反省する…それが本当のところかと思います。ヒヤリとした時のことを振り返ってみると、自分は事故を起こさないだろうという傲りがあったり、時間に追われていて自分に余裕がない時だったりすることが多い気がします。

危険と分かっているのに速度を上げたり、車間距離をつめたりする行為に身に覚えがある方もおられるかもしれません。誰もが事故を起こしたくない、安全に運転することを望んでいるはずなのに、危険に近づく運転をしてしまう。その原因の1つは、運転者の人柄的な部分ではないでしょうか。自分自身を客観的に見つめ直し、それを踏まえてどう安全運転に繋げるか。そんなことを考えることが大切だと思います。

そこで、中央研修所では運転適性検査を実施したり、危険回避などの特殊体験を通じて車両特性や人間の能力の限界を知っていただき、自分の運転を改めて振り返っていただけるような研修を実施しています。

もし機会がありましたら、当研修所の研修を受けていただき、「初心」を思い出して安全運転への動機づけにさせていただけたらと思います。

実技教官 瀬瀬 丈

